

令和6年度 指定管理者年度総合評価表

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

作成日	令和7年5月27日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	児童館（八戸市中央児童会館ほか14施設）	
所在地	八戸市内丸一丁目1番1号ほか	
施設概要	<p>施設概要 児童館は、地域のすべての幼児や学童に自由な活動や遊びの場を提供するための地域の拠点となる施設である。また、遊びを中心とした様々な体験を通じて、児童の健全な育成を図っている。</p> <p>【小型児童館】6館 豊崎児童館、三条児童館、是川児童館、南浜児童館、高岩児童館、松館児童館</p> <p>【児童センター】9館 中央児童会館、湊児童館、小中野児童館、吹上児童館、白銀児童館、大館児童館、鮫児童館、八戸ニュータウン児童館、江陽児童館</p>	
指定管理者	名称	社会福祉法人八戸市社会福祉協議会
	代表者	会長 伊藤 博章
	所在地	八戸市根城八丁目8番155号
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の児童の健全育成指導 ・各種行事の実施 ・クラブ活動事業 ・母親クラブ等地域組織活動の育成 ・ボランティアの募集・育成 ・その他市長が特に必要と認める業務 ・施設、設備等の維持管理に努める業務 	
市所管課 (問合せ先)	こども健康部 子育て支援課 家庭支援グループ	
	電話	0178-43-9342 (直通)
	e-mail	kosodate@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数について、コロナ禍前の水準に及んだ前年度に比べ、学童登録者数は約300人増、学童利用者数は約5,900人増となった。一方、事故及び苦情報告件数は減少しており、こどもと保護者、地域住民にとって安全・安心な児童館運営に努めた。 ・長期休業中（春・夏・冬休み）児童センターの開館時間を延長し、利用者の利便性を高めた運営を行った。 ・館長会議、厚生員会議等を定期的で開催し、研修報告や時事問題を取り上げるとともに、事務作業や保護者との関係性についての改善方法を共有し、運営の質及び効率性の向上に向けて取り組んだ。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果や日々のご意見も踏まえ、利用者の満足度向上に努め、安全・安心なこどもの居場所としての児童館運営を目指す。 ・こどもを中心とした多様な育ちを支える場として、改正児童館ガイドラインに基づいた運営の充実を図る。

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営について、児童館運営要綱、包括協定書、業務基準書及び事業計画書等に基づき、適正かつ良好に遂行されていた。 ・サービス面については、前年度に引き続き小学校の長期休業期間中に、利用者の多い児童センターの開館時間延長を実施し、サービスの向上を図っていた。 ・八戸ポータルミュージアムでのパネル展実施や、各児童館で作成する「児童館だより」を地域を越えて広く公開するなど、広報活動に力を入れ、市民への周知に努めた。
指摘事項	<p>小型児童館の利用者数が昨年度より減少した。児童数減少などの影響もあると思うが、利用者数を維持するため、サービス向上や事業周知などに継続して努めること。</p>

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	児童センターの開館時間を、小学校の長期休業期間中には午前7時30分に、土曜日には午前8時30分に早め、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	◎	関係法令を遵守していた。
適正な人員配置	○	利用児童の多い児童センターに職員を増員していた。
従事者の労働環境確保	○	最低賃金等の労働関係法令を遵守し、職員の個人面談により意見や要望等の確認をしていた。
従事者の教育・研修	○	職員教育及び職員研修会を適切に行っていた。 【主なもの】 ・放課後こども総合プラン支援員等研修会 ・体力指導員研修会 ・安全研修会（さすまた） ・福祉サービス苦情解決関係者等研修会 ・児童厚生二級指導員研修会 ・青森県児童館職員研修会 ・全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー
緊急事態への対応	○	児童館事故・非常災害等対応マニュアル、事故予防、不審者対マニュアルはじめ、各館の非常災害対策計画を作成し避難訓練等を定期的実施していた。
文書の管理保存	◎	文書取扱要綱を整備し、受領した文書は適切に管理していた。
報告書等の提出	○	事業計画書、四半期報告、事業報告書、苦情・事故報告等は遅滞なく報告していた。
利用料金の取扱い	—	
口座管理、経理の区分	○	収入は専用口座で管理し、他の会計と区分して経理を行っていた。
通帳、印鑑の管理	○	経理規程に基づき、適正に通帳及び印鑑を管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）も継続して指定を受けているため対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定を受けているため対応なし。
重要事項の変更の届出	◎	令和6年12月12日付で代表者が変更となったため、速やかに届出を行っていた。
施設の使用許可及び条件	◎	八戸市児童館条例に基づき、施設使用許可等適切に行っていた。
施設、設備の保守管理	○	施設及び設備の保守管理を定期的に行うとともに、修繕を実施する際には市へ事前に承認申請を適切に行っていた。
備品の管理	○	経年劣化等で使用できなくなった備品は市へ報告するなど、管理を適切に行っていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務を適切に行っていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
小型児童館利用状況	△	利用者数が1,149人減少した。 ※豊崎児童館、三条児童館、是川児童館にて減少した。 ・令和6年度 21,237人（対前年度比94%） ・令和5年度 22,386人
児童センター利用状況	○	利用者数が594人増加した。 ※小中野児童館の「体力指導数」が前年度に比べ9,008人減少したが、カウント方法を変えたことが影響している。なお、特に利用の多い学童利用者数は、小中野、大館、ニュータウン、江陽にて大幅に増加した。 ・令和6年度 206,466人（対前年度比100%） ・令和5年度 205,872人
個別の児童の健全育成	○	特別な配慮を必要とする児童が増加している中、状況に応じて本人や保護者と面談を設けたり、関係機関との連携を図ったり、他利用者へ説明したりすることで、できるだけ楽しく安全に過ごせるよう支援していた。
各種行事の実施	○	母親クラブや地域住民と協働しながら、三世代交流や行事を開催していた。
ボランティアの募集・育成	○	各児童館で行われる行事や環境整備には地域住民へボランティアとしての参加を館便り等で呼びかけ、協力して活動していた。
地域組織活動の育成助長	◎	母親クラブ活動への協力、支援を行うとともに、共催事業の実施により連携を深め次世代の人材育成に努めていた。
自主事業	○	こども達の自主性、社会性、協調性等を育み、児童館の活動を地域住民に周知することを目的に実施していた。 【事業内容】 ・出前児童館として「ハ°初展」「GOGO!!じどうかん」（全館合同） ・児童センタークラブ活動（各児童センター） ・館外活動（各児童館）
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	・法人のホームページ及びフェイスブックを活用し、毎月15館分の館便り等の情報を発信し、市民が地区を超えて各館について知ることができるようになっていた。 ・利用者アンケートの実施や登録児童台帳の作成にデジタル化を取り入れたことで、事務作業負担を軽減していた。

3 収支状況						
指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
			指定管理料	152,143,000	152,143,000	144,145,000
			八戸市児童館 物価高騰対策支援金	0	0	1,800,000
			令和5年度八戸市児童館 新型コロナウイルス感染症対策 支援事業補助金	0	0	28,000
			処遇改善事業費補助金	0	4,230,960	0
			早朝開館対応業務委託料	0	1,758,900	0
			修繕料繰越金	0	0	383,271
			計	152,143,000	158,132,860	146,356,271
		支出②	人件費	131,775,000	132,190,003	127,414,256
			維持管理経費	12,049,000	12,645,942	12,485,484
			事業費・一般事務費	8,319,000	7,861,217	7,216,633
			計	152,143,000	152,697,162	147,116,373
	次年度修繕料繰越金③	0	9,210	1,301		
	収入-支出(①-②-③)	0	5,426,488	△ 761,403		
※前年度実績の修繕繰越金1,301円については、指定期間満了により精算、返納済み。						
自主事業の収支状況	○	収入 1,636,340円（計画500,000円、前年度1,647,103円） 支出 1,636,340円（計画500,000円、前年度1,647,103円）				

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケートを実施し、満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	法人のホームページに掲載するとともに、施設概要や利用方法を記載したパンフレットを各児童館及び社会福祉協議会事務局に設置し、周知に努めていた。
苦情・要望等の受付体制	○	児童館便りに苦情受付体制について明示し、保護者へ周知を行っていた。また、各児童館にポスター掲示とご意見ポストを設置し、意見を出しやすい環境を整えていた。（令和6年度第三者委員会開催事例2件）
苦情・要望等への対応	○	苦情や意見については、適切に対応していた。 【苦情件数】令和6年度2件 令和5年度10件
個人情報の保護	○	個人情報保護規程を整備し、遵守していた。
情報公開	○	法人のホームページ上において、事業計画書、事業報告書、収支予算書、収支決算書を公開していた。
秘密保持義務	○	新採用職員研修会、館長・厚生員会議において秘密保持にかかる研修を行っていた。
環境への配慮	○	館内の節電や裏紙の再利用に努め、省エネルギーの取組みを適切に行っていた。
障がい者への配慮	○	こどもの心身の状況に応じた支援を行い、必要に応じて学校や関係機関との連携を図り、利用者本位の適切な対応ができるよう体制を整備していた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	AED装置の点検を毎日実施し、避難・消火・不審者対応訓練を実施するとともに、遊具の安全点検ではチェックリストを用い、打音・目視で点検を行い、利用者の安全・安心の確保に努めた。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	四半期業務報告書及び事業報告書は遅滞なく提出されていた。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	31回	4月2、12、25日	担当	各施設の状況確認
		5月1、10、16、23、24、30日	GL、担当	各施設の状況確認、指導監査
		6月7、13、24日	担当	各施設の状況確認
		7月5、16、31日	GL、担当	各施設の状況確認
		8月22、30日	担当	各施設の状況確認
		9月4、5、6、9、12、20、24、25日	担当	各施設の状況確認
		10月7、21日	担当	各施設の状況確認
		11月8、12、25日	担当	各施設の状況確認
		12月18日	担当	各施設の状況確認
実施結果				
必要に応じて各施設の状況を確認した結果、適切に管理運営されていた。				

※GL：グループリーダー